

第3回

環境自然学習 開催報告

メダカの捕獲と観察

7月23日(日)10:00~12:00 ★ 参加人数：子ども 9名、大人 5名



1. 会議室『メダカとカダヤシの違い』

本日の講義内容

(1)危険生物・外来生物・絶滅危惧種と人間との関り

- ・何がいけないの？ 何故？ 入ってきてしまったの？
- ・外来生物との向き合いかた。
- ・浜松市にいる特定外来生物

(2)メダカが何故、絶滅危惧種になったのか？

- ・カダヤシとは？
- ・メダカダヤシ・・・？
- ・ミナミメダカ VS カダヤシ
卵の数・仔魚・稚魚・栄養袋について

2. ビオトープ池 メダカの捕獲と稚魚の観察

- ・ミナミメダカが群れになって泳いでいるのを観察・捕獲。
捕獲した中には、1か月以内の稚魚もいました。
- ・6月に放流した中にはいなかった、ギンブナを捕獲。
- ・大きく成長したアメリカザリガニも捕獲。6月より数が据えていました。初めて赤ちゃんザリガニを捕獲しました。



3. 捕れた生き物の確認

<捕獲>

- ・ミナミメダカ ・モツゴ ・ギンブナ
- ・マドジョウ ・ヒメタニシ ・ヤゴ (アザシイトナ)
- ・アメリカザリガニ ・スクミリンゴ貝

